

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2022-04-01

No. 140



株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
総務省: IEC: 規格解説: CISPR 会議の結果について 電波利用環境委員会資料公布(1/2).....	3
IEC: 新規格リスト	7
ISO: 新規格リスト	9
UNECE: 車両規制調和世界フォーラム 185 回会合(2021 年 11 月 23-25 日)報告書(2/3).....	9
国際テーマ: 管理対象製品の変更に係る米国 FCC の報告ルールについての説明	12
国際テーマ: アルゼンチンがワイヤレスネットワーク機器の国内試験を要求	12
国際テーマ: EU: サイバーセキュリティに関するウェビナーの成功と今後の計画	13
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	14

USA: FCC: Part 15: 認可される意図的放射機器と共に使用されるアンテナの要求事項は? ..	15
USA: FCC: Part 15: ホワイトスペース規則に基づき運用する機器の証明のための試験	15
USA: FCC: Part 15: U-NII-4 バンド 5.9 GHz のデバイスの証明取得の条件は?	16
USA: FCC: Part 20: 携帯型ハンドセットに対する補聴器両立性の機器認可要求事項は? ..	16
USA: FDA: eSTAR プログラム(市販前審査のための医療機器の申請書類の作成支援)説明 ..	17
USA: CPSC: 携帯発電機による一酸化炭素中毒を低減するため今後強規格制定が必要 ..	18
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	18
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	20
USA: IEEE: 新規格リスト	21

EU: 無線機器指令 RED の個人データ保護等を補足する委員会委任規制 2022/30 発行	23
EU: 無線機器指令 RED: 雪崩ビーコン、衛星地上局およびシステムなどの整合規格	24
EU: 車両等の市場監視規制(EU)2018/858 の適用方法を定める規制(EU)2022/163 発行	25
EU: 車両承認証明書等を規定する実施規制を修正する、実施規制 2022/195 発行	26
EU: CEN CENELEC: ヨーロッパの標準化団体を結集、ウクライナとの連帯を表明	27
EU: CENELEC: 新規格リスト	27
EU: ETSI: 新規格リスト	29

中国: SAMR: 「全国的に重要な工業製品の品質安全監督管理目録(2022 年版)」の配布 ..	30
中国: CNCA: 統一的なグリーン製品認証およびラベリングシステムの構築の推進	30
中国: CQC: プリント回路用銅張積層板等の安全認証規則の改訂に関する通知	31
中国: CQC: ヒューズ抵抗器の安全認証規則の更新に関する通知	31
中国: 新規格リスト	32
台湾: 「検査対象のワイヤレス充電器商品の関連検査規定」改正の通知	35
台湾: 「プリンタ又はコピー機器等の 31 製品に関連する検査規則」の修正	36
台湾: 「ワイヤレス充電器、テレビ等の 22 製品に関連する検査規則」の修正	36
台湾: 新規格リスト	36
韓国: KATS: 安全確認対象生活用品(携帯用レーザー用品)の安全基準改正告示	37

総務省: CISPR 16-1-2, CISPR 16-2-1, CISPR 16-2-3 に準拠する国内規格答申	38
総務省: 「920 MHz 帯小電力無線システムの広帯域化に係る技術的条件」について答申 ..	38
総務省: 「5.2 GHz 帯自動車内無線 LAN の導入のための技術的条件」について答申	39
総務省: 「5 GHz 帯気象レーダー」及び「9.7 GHz 帯汎用型気象レーダー」の技術的条件 ..	40
総務省: 空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムの導入のための制度整備	40
経済産業省: 日本産業規格(JIS)を制定・改正しました(2022 年 3 月分)	41
経済産業省: 再生可能エネルギーの FIT 制度における 2022 年度以降の買取価格を決定 ..	42
経済産業省: 蓄電池の国内生産基盤確保のための先端生産技術導入等補助金	42
経済産業省: ロシア・ウクライナ情勢に関する外国為替及び外国貿易法に基づく措置	43
国土交通省: 船上揚貨装置(クレーン)の国際的な安全基準案がまとまりました	43
国土交通省: 欧州における高精度デジタル道路地図整備事業への JOIN 出資を認可	43
厚生労働省: 【国内薬事】製造管理及び品質管理の基準に係る質疑応答集(その 4)	44

ちょっといっぽく〜小クイズコーナー ETSI 規格のサイバーセキュリティに関する規定 ..	14
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内	22
社長の独り言	45

総務省: IEC: 規格解説: CISPR 会議の結果について 電波利用環境委員会資料公表(1/2)

- 2021 年度 CISPR 会議が、令和 3 年 11 月 8 日から 19 日までの間、Web 会議により開催。我が国からは、総務省、各研究機関、各大学、各試験機関、各工業会等から 28 名が参加。
- CISPR 会議の結果について等が、電波利用環境委員会（第 51 回）に於いて、審議された（令和 4 年 1 月 25 日(火)～2 月 1 日(火)）。配布資料が、公開されている。

UNECE: 車両規制調和世界フォーラム 185 回会合(2021 年 11 月 23-25 日)報告書(2/3)

車両規制の調和のための世界フォーラム 185 回目会合(ジュネーブ、2021 年 11 月 23-25 日) 開催、その報告書国連 ECE/TRANS/WP.29/1161 から

- B. 1958 年協定の管理委員会 (AC.1) XIV. 既存の規制の修正と正誤表および新しい規制の提案- AC.1 による投票

提出された書類に対する投票の結果は、1958 年協定の改訂 3 の第 12 条の手続き規則および付録に従って、下記等の修正が採択された:

規制番号 0 国際全車両型式承認(IWVTA: International Whole Vehicle Type Approval)

規制番号 157 自動レーンキーピングシステム(ALKS: Automated Lane Keeping Systems)

規制番号 158 後退時車両直後確認装置 Reversing motion

規制番号 159 車両前方の死角にいる歩行者、自転車との衝突(MOIS: Moving Off Information Systems)を予防するための衝突警報装置)

USA: FCC: Part 15: ホワイトスペース規則に基づき運用する機器の証明のための試験

- パート 15 サブパート H、ホワイトスペースの規則に基づき運用される機器の証明のための手続きは? ホワイトスペース機器の試験手続きは、別紙 416721 D01 White Space Test Procedures v04 に記載されている。

EU: 無線機器指令 RED の個人データ保護等を補足する委員会委任規制 2022/30 発行

- 2022 年 1 月 12 日付け欧州官報にて、無線機器指令 2014/53/EU の第 3 条(d)、(e)、(f)の各項(ネットワーク、個人データ、詐欺の保護関連)に述べられている必須要求事項の適用に関して同指令を補足する委員会委任規制(EU) 2022/30 が公示された。
- 例えば、無線機器指令 2014/53/EU の第 3 条の必須要求事項 3.(d)項の「無線機器は、ネットワークあるいはその機能を妨害せず、またネットワークリソースを濫用しない」という規定は、「インターネット上でそれ自体が通信できる無線機器（インターネットに接続された機器）に適用するものとする。」という規定で補足された。

EU: 無線機器指令 RED: 雪崩ビーコン、衛星地上局およびシステムなどの整合規格

総務省: 「5.2 GHz 帯自動車内無線 LAN の導入のための技術的条件」について答申

- 「5.2 GHz 帯自動車内無線 LAN の導入のための技術的条件」について答申
- 5.2 GHz 帯自動車内無線 LAN に関して、WRC-19 の結果及び既存の移動通信衛星システム等との周波数共用検討結果を踏まえ、本答申のとおり技術的条件案を取りまとめた。

社長の独り言

2022 年 3 月 18 日
濱口 慶一

皆様はお変わりなくお過ごしでしょうか？三重県ではやっと新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が解除になり、通常の生活に戻りましたが、全国的には依然として多数の感染者数が報告されています。まだまだ安心はできないので、油断することなく感染防止に努めたいと思います。

2021 年 4 月に長岡技術科学大学の大学院工学研究科修士課程でシステム安全工学を専攻してから、1 年が無事に経過しました。卒業に必要な履修単位のうち、30 単位プラス 12 単位の 42 単位を修得できました。2 年次では、修士論文と必須の選択 1 科目の 2 単位が残っているだけなので、受けたと思う科目だけで卒業にチャレンジする計画です。幸いにも社員の中から、私に続いて今年から長岡技術科学大学の同じシステム安全科に入学してくれる社員がいますので、1 年先輩としてアドバイスしていきたいと思います。

長岡技術科学大学で学びたいと思ったそもそものきっかけは、90 年代初めにウィリー・ハーマー氏の”製品安全の考え方『安全を問われる製品責任』”(鹿島出版社)と出会ったことにあります。この本を読んで、製品安全は製品に適用される規格への対応で十分とする方が多い中で、本来は製造物責任法を念頭に置いての製品企画、設計・開発なのではという思いをずっと抱いてきました。この思いをベースに私の経験や正しい規格の解釈などをまとめ、それを事業継承の参考書として残すことが、事業継続計画 (Business Continuity Plan, BCP) になることを確認したいと考えての入学でした。卒論扱いとして教授が受け入れてくれるかは今の段階では不明ですが、技術解説書として完成させたいと思います。

一度ここでも紹介した“ドイツ工作機械工業の 20 世紀・メイド・イン・ジャーマニーを支えて”(多賀出版)の中で紹介されているゲオルク・シュレージンガー氏の著書“The Factory”を著者の幸田先生より紹介され、さっそく古本を社員が探し、入手してくれました。まだパラパラと見ただけですが、私の求めていた、人生の“座右の書”だと一人感動しています。1948 年の後期に原稿を仕上げ、1949 年に出版された本で、これはちょうど私の生まれた頃にあたります。銃身の製造工場のシステム化を一例として、製造にかかわる色々な管理をコンピューターもない時代にデータベース化(カードで管理)する手法や、製造する製品の性能ばらつきなども考慮した試験方法などが紹介されています。ドイツ生まれの技術者の本来の技術力、さらにこれを残しておこうと原稿を書き、出版して後世に残してくれたことは大きな財産であり、深く感銘を受けました。読者の方には九州地方の方も多くおられると思います。幸田先生は現在、熊本学園大学の教授をされています。幸田教授はドイツ工業会の実情に非常に明るい方ですので、現在の日本の工業界にインパクトのあることをご紹介いただけるかもしれません。幸田先生のセミナーなどの案内がありましたら、ぜひお知らせください。三重からでもお話を聞きに行きたいと考えています。

三重県度会では、早くも早咲き桜が散り、4 月のソメイヨシノを待つばかりです。趣味の日本蜜蜂の養蜂も、1 群でも巣箱に入ってほしいと期待する毎日です。

● ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU 及び UK, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション CS 部 (カスタマーサービス部) まで Yamashita-jun@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO: European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC & 安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2022-04-01 (No. 140)

発行所: 株式会社 コスモス・コーポレーション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1

ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉口光雄

iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2022 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。